

## 第6学年5組 学級活動（1）学習指導案

1, 日時・場所 令和2年9月16日（水） 5校時・6-5教室

2, 議題 「1年生と仲良くなるために、今だからできる交流をしよう！」

3, 議題について

<学級目標>

喜努相楽

（1）児童の実態

今年度は臨時休校の期間があったためクラスとしてのスタートは6月からとなった。学校生活が再開してからは、やはり例年の開始とは異なるため、しばらくは子どもたち同士も緊張した様子が見られていた。その様子からも周りの子とのかかわりに不安を感じていたり、自信をもてなかつたりということが感じられた。そこで、クラスでは様々な子と密にならないようにということを前提にしながらも、かかわりを持てる場面を数多く設定してきた。その結果、係活動やグループ活動などにおいても男女関係なくかかわる姿が見られるようになってきている。しかし、授業中の発言などは正解の確信がないとなかなか挙手できなかつたり、行動面でも与えられたこと以外は動き出せなかつたりと自信のなさを感じられる。だからこそ、自分達で課題を見付け、解決策を話し合い、実際に行動に移していくという経験を学級活動の時間に積んでいくことで、「自分達でやりきった」という自信をつけていってほしいと考える。

（2）議題選定の理由

6年生として、そして最上級生として下級生の手本になりたいという思いをもっている子が多く、4月から目標を記入する際には「下級生の手本として」や「下級生に優しくしたい」という思いを記入する子が多かった。だからこそ、「1年生が学校生活に慣れるために自分達に出来ることをしよう」という思いから、学校生活に関する様々な動画を作成してきた。動画を作成し、流すという一方的な活動かもしれないが、「1年生のために」と、どの子も自分にできる事に精一杯取り組む姿が見られてきた。しかし、今年度はこれまで1年生との双方向でのペア活動は、zoomを使っての自己紹介しか取り組むことが出来ていない。だからこそ、子どもたちも「もっと1年生とかかわりたい」という思いをもつ子も多々いる。そのなかで、「やりたいことができない」ではなく、いろいろなやり方を工夫することで「こうやればなんとかできる」や「こうやればもっと楽しくできる」ということを4月から子どもたちに伝えていくからこそ、一つの実践の場として本議題を設定した。

ここでの経験を通して、「自分達が工夫して考えることでいろいろなことができた」という思いをもち、今後の活動にも自信をもって取り組んでいけるように指導をしていきたいと考える。

4, 評価規準

よりよい生活を築いていくための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

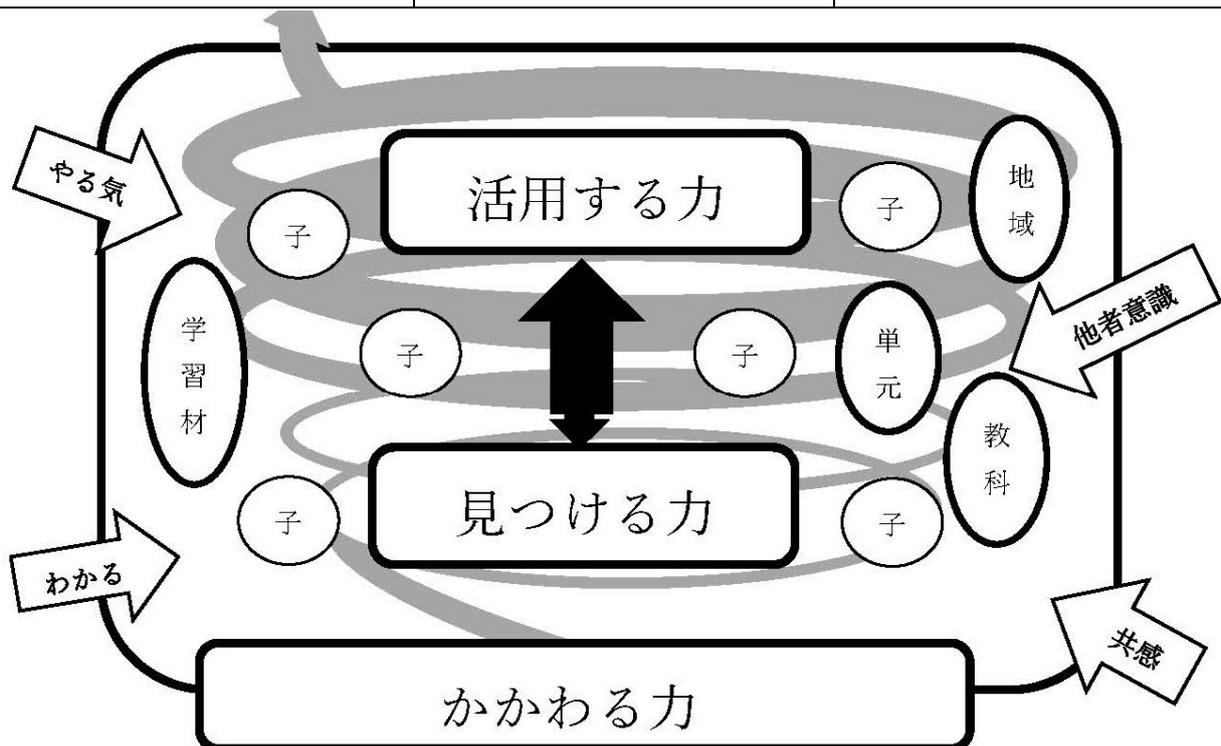
5, めざす子どもの姿に迫るための手だて

研究テーマ

研究テーマ	自ら学び、自ら考え、互いに高め合う子をめざして
サブテーマ	3つの力を関連させることで育まれる主体的、対話的で深い学びを求めて

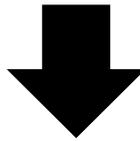
6 年のめざす子どもの姿

自ら学び (主体的な学びをする子)	自ら考え (深い思考をする子)	互いに高め合う子 (対話的な学びをする子)
集団や自己に対しての課題を見付け、その課題を解決するために自分にできる事を主体的に実践する子	様々な知識を相互に関連付けたり、学んだことをもとに課題を見だし解決策を考えたりできる子。	多様な考え方に触れ、課題について多面的・多角的に思考が出来る子。



子どもに身につけさせたい3つの力と具体的な姿（6年生）

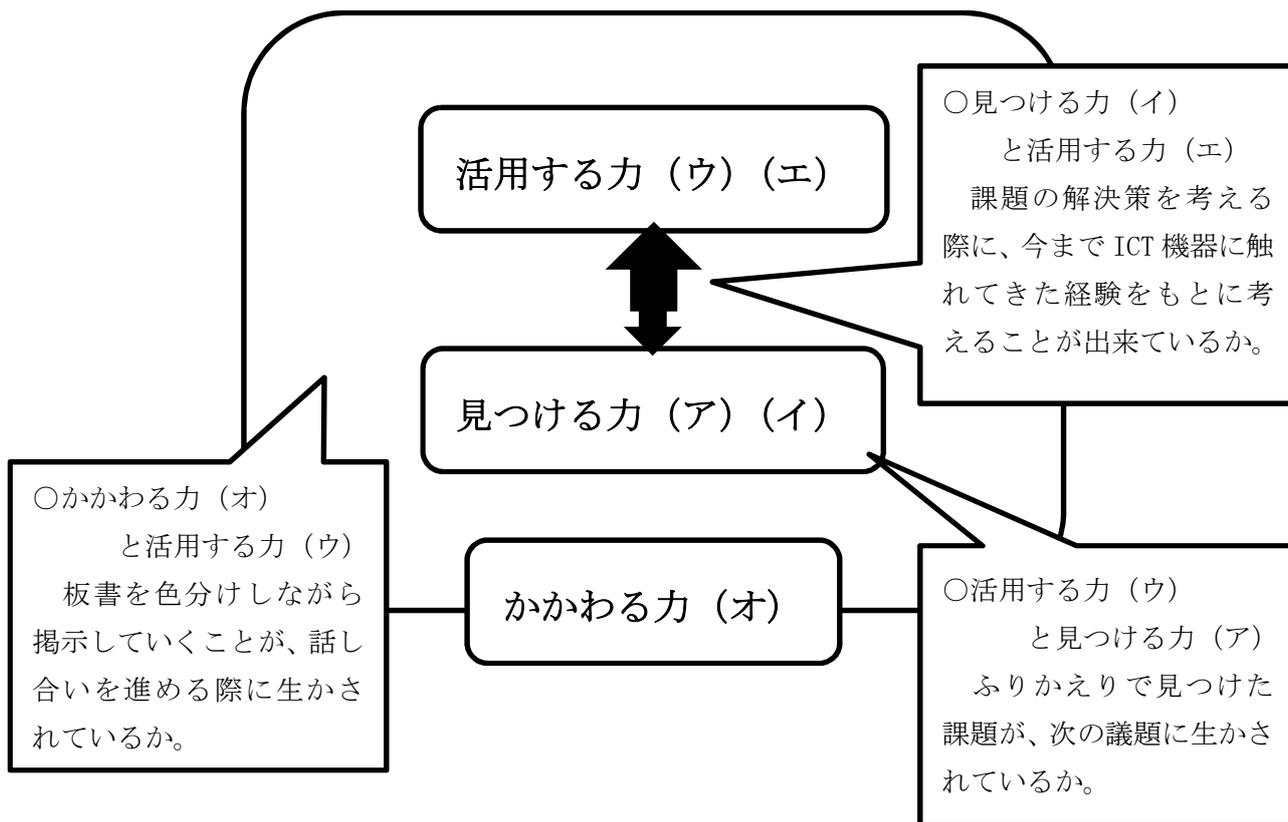
力	子どもの具体的な姿
見つける力	・ 体験したことを表現する。
	・ よりよいものを見つける。
	・ 課題を見つける。
	・ 体験したこととつなげて考える。
活用する力	・ 得た知識をつなげて新しい課題に取り組む。
かかわる力	・ 異なる視点から考える。
	・ 友達の考えをつなげてまとめる。



力	手立て
見 つ け る 力	<p><b>（ア）議題ボックスを設置することで課題を見つける。</b></p> <p>・ クラスで見つけた課題や実現したいことがある場合は議題ボックスに議題を提案するということを学級開きから伝えていく。さらに1回目は全員が議題を提案してみるということを経験することで、「議題を提案するにはこのようにすればいいんだ」という安心感を与えられるようにする。また、実際に児童から出た議題をもとに学級会を行い、集会などの経験を積んでいくことで「またこのようにクラスで活動したい」という思いを感じることが出来るようにする。このようなサイクルを大切にしていくことで、児童が自分達でクラスの課題に目を向け、解決をしていく力を伸ばしていく。</p> <p><b>（イ）ワークシートを事前に記入することで、課題の解決策を体験したことをもとにして表現する。</b></p> <p>・ 学級会に臨む前に、毎回、同じワークシートを用意し、記入する時間を確保する。さらに学級会の基本の流れである、「出し合う→比べる→まとめる」の「出し合う」を事前に児童から吸い上げることで、よりワークシートに記入することを明確にする。それにより意見を提案することに課題を感じている子も、「選ぶ」ということで、自分の考えを表現できるようにする。また、事前に担任が把握をしておくことで、めあてに沿った活動になるための意見をもっている児童を把握することができる。さらに回収し、コメントをして価値づけを事前に行っておくことで、自信をもって表現する力を伸ばしていく。</p>

活用する力	<p>(ウ) 毎回の学級会でのふりかえりを充実させることで、次に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえり際には、学級会を行ったうえで見つけた「良かった点」だけでなく、「課題」についても触れるように、視点を与えておく。それにより、クラスとして次の学級会に向けた、「今回は〇〇だったので、次回は、△△にしたい」や、「〇〇さんの△△な発言が良かったので次回は自分が」などの「またやりたい」や「次こそは」というような思いをもてるようにする。また、ワークシートにも記入をすることで、学級会のなかで発表をすることが出来なかった子が見つけた次の学級会につながる課題についてもクラスで共有していくことで、課題を見付ける力も伸ばしていく。</li> </ul> <p>(エ) ICT 機器に様々な場面で触れていくことで、得た知識や経験をつなげて新しい課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に配置されているカメラやタブレットなどを様々な学習で使用していき。カメラに関しては、実行委員を中心に卒業アルバムに使うことが出来るような写真を自分達で記録をしたり、動画を撮影することで1年生のために学校生活の過ごし方を教えてあげる映像を作成したりという活動を行ってきた。タブレットに関しては、総合的な学習の時間に、「It's my HERO」という活動において、タブレットを使い自分の憧れの人などの紹介文を作成した。また、今年度はZOOMを使っての1年生とのオンライン交流も行ってきた。このような活動を経験していくことで、ICT機器の便利なところはもちろん、工夫しなければならない点なども経験を積んできた。だからこそ、今回の議題であるICTを活用した交流においても、自身の経験を生かした話し合いを行うことが出来ると思う。</li> </ul>
かかわる力	<p>(オ) 板書を色分けして掲示していくことで、友達の考えをつなげてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会のなかでうまれる、「〇〇さんの意見に賛成です」などという意見を黒板記録の児童が可視化することで、一人一人の思いを大切にしていく。また、色分けをして掲示をしていくことで、一つの意見に対しても様々な意見があるということが一目で分かるようになる。それにより、発言をする際にも関連させたりつなげたりしやすくなると思う。さらに黒板に記録されていく意見が色分けされていることで、まとめていく際にも様々な角度から考えていくことが出来るようになる。</li> </ul>

【3つの力の関連】



## 6, 活動の実際

### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
9月7日(月) 【朝の時間】	・提案者の思いを確認する。	○学級会に議題として取り上げる、内容や時期を選定する。 ☆楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見している。 (集団や社会の形成者としての思考・判断・表現)
9月7日(月) 【中休み】	・提案者、司会グループで集まり議題の決定を行い、学級会でのめあてや役割分担、学級会の進め方について話し合う。	○学級会の進め方のワークシートやクラスに掲示する用紙を用意し、進め方の助言を行う。 ☆合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。 (よりよい生活を築いていくための知識・技能)
9月8日(火) 【朝の会】	・司会グループから議題や学級会のめあて、提案者の思いについて伝え、具体的な改善策の募集を行う。	○次の学級会へ向けて、提案者の思いを共通理解ができるようにする。 ○改善策を事前に募ることで、学級会での話し合いの時間を確保する。 ☆みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 (よりよい生活を築いていくための知識・技能)
9月12日(金) 【帰りの会】	・出し合った意見をもとに、個人のワークシートに意見と理由の記入をする。	○自分の考えや思いを書き込め、学級会当日に確認できるワークシートを用意する。 ○ワークシートに考えや思いを記入することで、意見が活発に出る学級会になるように声をかける。 ○事前に回収することで、個人の考えを把握するとともに、コメントをすることで学級会への意欲を高め、自信をもって話合いに臨めるようにする。 ☆楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるための解決方法について考えている。 (集団や社会の形成者としての思考・判断・表現)
9月15日(火) 【中休み】	・司会グループ、提案者で学級会の流れの最終確認を行う。	○当日、予想される意見や学級会の流れを事前に予測し、解決策を考えるように声をかける。 ☆楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもちながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 (主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度)

(2) 本時の活動

①ねらい

ペア学年である1年生と今だからこそできる活動を考えることを通して、1年生と仲を深めることが出来る交流の内容や計画を考えることが出来るようにする。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) 評価 (☆) 3つの力 (【 】)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認</p> <p>「1年生と仲良くなるために、今だからできる交流をしよう！」</p> <p>4. 提案理由の確認</p> <p>「今年はペアとの交流があまりできず、仲を深めることが出来ていない。だからこそ、今だからできる交流をすることで、1年生との仲を深めたい。」</p> <p>5. めあての確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1年生との仲を深めることができる、楽しい交流をしよう」</li> </ul> <p>6. 決まっていることの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の10分に6人程度ずつ、グループで交流する。</li> <li>・ZOOMを通しての交流をする。</li> </ul> <p>7. 話し合い</p> <p>「ZOOMを使った1年生と仲良くなるための交流であることを話し合おう。」</p> <p>【1】出し合う (事前)</p> <p>【2】くらべ合い</p> <p>【3】まとめる</p>	<p>○事前にワークシートに書いた自分の考え、学級会での個人のめあてを確認する時間を確保する。</p> <p>○決まっていることは事前に模造紙などに書いておく。</p> <p><b>【見つける力 (ア) (イ)】</b></p> <p>○提案者と事前に思いを確認しておき、思いが伝わる説明ができるように声をかける。</p> <p>○「楽しい交流」とはどのようなものなのかを全体で共有しておく。</p> <p>○ZOOMなどの映像を使って交流をしたときの経験をふりかえる。</p> <p>○くらべ合いでは常にめあてに対してずれていないかを確認しながら話し合いを進めていくように声をかける。</p> <p>○相手の思いを汲んだ意見を発表している子や建設的な意見を発表している子を記録しておき、ふり返りで全体に共有できるようにする。</p> <p>○くらべ合いをスムーズに行うために、賛成意見などの理由を板書に残すことができるような掲示物を用意しておく。また色分けをしておくことで、視覚的に分かりやすい板書を心掛けるように声をかける。</p> <p><b>【かかわる力 (オ)】【活用する力 (エ)】</b></p> <p>☆友達のことを認めながら、自分たちにとってよりよい解決方法や、とっていきべき行動を考えて意見を言ったり聞いたりしている。</p> <p>〈集団や社会の形成者としての思考・判断・表現〉</p>
<p>◎本時の視点 <b>【かかわる力 (オ)】</b> と <b>【活用する力 (エ)】</b></p> <p>くらべ合いの際に行った色分け掲示やICT機器に触れた経験が学級会の話し合いを進めるうえで有効であったか。</p> <p>また、今回得た経験を次の学級会に向けて活用しようとしているか。</p>	

<p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. ふりかえり</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. おわりの言葉</p>	<p>○「良かった点」だけでなく、「課題」も取り上げることが出来るように、机間指導を行うことで一人一人のふりかえりを把握しておく。</p> <p>○次につながるふりかえりを書いている児童を意図的に指名することで、全体に共有できるようにする。</p> <p>○発表をする前に、ワークシートに記入する時間を確保する。</p> <p>○ふりかえりの視点として、「よかったこと」だけでなく、「次への課題」がある場合には記入するように伝える。</p> <p><b>【活用する力 (ウ)】</b></p> <p>○話し合いの際に合意形成へ向かうための発言などをした子を事前に把握して置き、取り上げるようにする。</p>
---	---

〈板書計画〉

<p>⑩ 終わりの言葉</p> <p>⑨ 先生の話</p> <p>⑧ ふりかえり</p> <p>⑦ 決まったことの確認</p>	<p>第5回 喜努相楽会議</p> <p>① はじめの言葉</p> <p>② 司会グループの紹介</p> <p>③ 議題</p> <p>④ 提案理由</p> <p>「今年はずっとの交流があまりできず、仲を深めることが出来ていない。だからこそ、今だからできる交流をすることで、1年生との仲を深めたい。」</p> <p>⑤ めあて</p> <p>「1年生との仲を深めることができる、楽しい交流をしよう」</p> <p>⑥ 話し合うこと</p> <p>「ZOMを使った1年生と仲良くなるための交流ですることを話し合おう」</p>
---	---

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
9月17日(木) 【朝の会】	・決定したことの確認を行い、決まった活動を実現するために、必要な役割や準備を考える。	○これまでの経験から必要な役割や準備を考えるように伝え、全員で取り組んでいくように声をかける。 ○得意を生かすことができるような役割分担になるように声をかける。 ☆楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 (主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度)
9月17日(木) 【中休み】	・決まった役割をもとに、ペア学年との集会のための準備を行う。	○一人一人が集会に向かって役割をもち、仲間と協力しながら準備を行えるように声をかける。 ☆楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、信頼し支え合って実践している。 (集団や社会の形成者としての思考・判断・表現)
9月24日(木) ～ 10月2日(金) 【朝の時間】	・ペア学年との集会を行う。	○自分達で活動を行うことができるように見守りつつ、安全にどの子も満足する活動になるように声をかける。 ☆楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、信頼し支え合って実践している。 (集団や社会の形成者としての思考・判断・表現)
10月2日(金) 【帰りの会】	・集会のふりかえりを行う。	○実践後のふり返しまで行うことのできるワークシートを事前に用意しておく。 ○次回の学級会に向けて前向きなコメントをしている児童を把握し、取り上げる。 ☆楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、振り返りを行い、次回の集団活動に取り組もうとしている。 (主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度)